

3.5 古典資料の保存と利用

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授

綿抜 豊昭

【はじめに】

今回の講義における「古典」とは、日本において、明治時代までに、書写もしくは刊行された古典籍の意味で使用する。

大学図書館の古典資料

すでに所蔵されているもの

教官が研究のため購入したもの

寄贈されたもの

保存以前の問題

整理済み（利用者が閲覧可能な状態）のではないもの 整理が必要

標準的整理

原状確認 カード取り 目録作成 ラベル貼等 撮影（保存・保管 公開）

整理のための道具

筆記用具、メジャー、ルーペ、カード、参考図書、文鎮、布（紙）、カメラ

保存

黴や虫から守る

薬剤

目通し

利用者から守る

閲覧の仕方

利用と有料・無料の問題

閲覧

展示（貸し出し）

インターネット

ホームページ～京都府立図書館、東京大学史料編纂所、国立の各博物館

目録や画像を提供

研究論文、研究書における使用

商品化の問題

オリジナル目録の作成（紙、デジタル）

翻刻、複製、注釈書等の作成

グッズ（絵はがき、シール等）の作成